

【福島市】

会 議 名	平成30年5月第2回臨時記者会見
日 時	平成30年5月23日（水） 午前9時30分～10時45分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p>開会</p> <p>それでは引き続き、市長臨時記者会見を開催します。市からの発表事項につきましては、一括して市長からご説明申し上げます。</p>
市 長	<p>市からの発表事項</p> <p>待機児童数138名の減少</p> <p>～ 平成30年4月1日現在の待機児童数112名 ～</p> <p>改めまして、おはようございます。</p> <p>今日はまず、待機児童に関して発表を申し上げたいと思います。資料にありますとおり、本市の今年4月1日の待機児童数は、前年の4月に比べて111名の減少、昨年10月の250名に比べますと138名の減少で、112名という形になりました。私としては、昨年秋の250名から100名以上減らすことを目標に取り組んでまいりました。今回その目標を達成して112名となりました。さまざまな対策の成果が表れたのかなと考えております。しかしながら、資料の下にもありますように、いまだ入所不承諾が397名いらっしゃいます。これは国の定義では待機児童にカウントされない方も含まれているわけですが、市民の方が自分の望むような保育サービスを受けられるようにこれからも努力してまいりたいと考えております。資料の下のグラフは、過去の推移を表したものでありまして、今回大きく減少したのがお分かりいただけるのではないかと思います。</p> <p>このように、減った要因として、これまでの市の対策緊急パッケージの効果が表れたものだと考えております。主な要因を申し上げますと、保育の受け入れ枠の拡大と、保育士の確保というのを、2つの柱に掲げておりました。受け入れ拡大という点で申し上げますと、今回保育所に限らず、私立幼稚園で預かり保育をやっていただきまして、市としてもそれに伴う潜在保育士の雇用に関して助成するといった取り組みを行いました。その結果、私立幼稚園の預かり保育が29名という形になり、さらに枠を拡大いただいているということでございます。私立に誘導するにあたって、市としては、今年2月下旬に保護者の相談窓口の開設をいた</p>

【福島市】

	<p>しました。市民の方々からかなりの相談がございまして、そこで我々市としてのご紹介や選択肢を提供したということも減少につながったのかなと思っております。</p> <p>保育士の確保という点でいうと、さまざまな対策を立てましたが、その中でも、公立の保育所におきまして、今回、正規の保育士を8名追加採用いたしました。それから、嘱託の保育士は離職がここ数年続いておりましたので、嘱託の保育士の処遇改善を行いました。その結果、例えば、昨年であれば31名が3月末で離職していたのですが、今回は13名に留まったということで、その点では保育士の確保が図られたのかなと思っております。その結果、公立保育所では110名受け入れ枠を拡大できたということになりましたので、こういったことが今回の待機児童の減少につながったと考えております。</p> <p>先ほども申し上げましたように397名の不承諾者の方がいらっしゃいますし、これからも新たに職場復帰をするとか、そういったことで保育を希望される方もいらっしゃって、保育のニーズはまた増えてまいります。引き続き、保育の対策を強化していきたいと考えております。</p> <p>私立幼稚園での預かり保育ですが、昨年度は4施設で実施していただいたものが、平成30年度は新たに4施設増えまして、現在8施設でやっていただいております。こういった面で待機児童解消のための取り組みが官民通じて広がってきているのが大変ありがたいですし、感謝申し上げたいと思っております。</p> <p>今後の対策に関しましては、5月28日（月）13時半から「第3回福島市待機児童対策推進会議」を開催いたしまして、改めて今回のご報告をするとともに、今後の対策について話し合いをしてまいりたいと考えております。</p> <p>私からは以上です。ここでいったん切りたいと思います。</p>
広報課長	<p>質疑応答</p> <p>ただいまの発表事項について、質疑応答に移ります。ご質問がございましたら、挙手・指名の後、社名とお名前をおっしゃっていただきまして、ご発言をお願いします。</p>
記者	<p>待機児童減少の関係で、ひとつの要因として嘱託職員の処遇改善があったと思うのですが、具体的に、給与なのか休みなのか、何が大きく影響したのでしょうか。</p>
市長	<p>給与を上げました。</p>
記者	<p>どのくらい上げたのでしょうか</p>

【福島市】

担当者	1カ月の給与を6,900円上げさせていただきました。 (後に訂正あり)
市長	年度当初に5,000くらいか上げたのですよね。
担当者	はい。年度当初に上げさせていただいたのですが、その後さらにもっと上げさせていただきました。
市長	去年の4月の段階で5,500円上げて、私が就任してから改めて6,900円上げましたので、1年間で12,400円上げて、さらに離職を防止しました。 (後に訂正あり)
記者	改善したのは給与の面だけでしょうか。
市長	はい、そうです。 公立もそうですし、私立もそうですが、保育園においてマネジメントが大事だということで、今年3月に保育園長を対象とした研修を行いました。そこで、園での保育士さんへの扱いといいますか、運営をよくするか、それによって保育士さんが気持ちよく働いていただけるかやっておりますので、それが結果として処遇の改善といいますか、働きやすい職場になっているのだらうと思います。これからもそういう取り組みは続けていきたいと思えます。
記者	3点ほど伺いたいと思えます。 今回待機児童数が大幅に減ったということですが、他市を見ると横浜市などで「待機児童数ゼロ」と公表した直後に、待機児童が殺到して、また待機児童数が増えるというような事態がありました。そういったことをふまえて、今回減りましたけれども、今後について、今市長が考えていらっしゃることを伺いたい。
市長	今年1月に「待機児童対策緊急パッケージ」というものを作りました。それに基づいて補正予算をし、当初予算を掲げておりますので、それをこれからも続けていくというのがひとつです。4月1日以降も続いていきますので、今後もニーズに対応していきたいと思っております。例えば、もうすぐ民間の方で企業主導型の保育施設などもできますし、そういったものも枠の拡大にさらにつながっていくわけです。こういったものは、我々としても今後さらに取り組みでいきたいと思っております。そういった枠の拡

【福島市】

	<p>大に限らず、大事なのは働く人でもあります。いろいろ聞いていますと、処遇の改善も大きな要素であるのですが、我々福島市だけで民間をも含めた給料を上げるというのは、はっきり言いまして財源的にできません。中核市の市長会などでも申し上げていますが、国に対策の充実をお願いをしていきたいと考えております。我々の対策としては、保育士関係でいいますと、潜在保育士さんにもさまざまな働き方のニーズがあると思います。例えば、正規での働き方がお好みかというところではなくて、自分は午前中だけ働きたいという人や、午後だけ働きたいという人などさまざまなニーズがあります。我々としてはそういうニーズを把握した「保育士バンク」みたいなものを作って、保育士さんにとって柔軟な働き方ができるよう、マッチングができる仕組みを今後検討していきたいと考えております。</p>
記者	<p>まさにその点を伺おうと思っていたのですが、ある認可外保育園の園長さんに伺ったところ、その認可外保育園の中でも毎年待遇を改善しているのだが、市などでより改善のよりいいものがあったりして、だんだんと保育士の確保がままならないということもありまして、市長がおっしゃったような、市が主導しながら保育士の確保を努めていくということではよろしいでしょうか。</p>
市長	<p>そうですね。我々も市だけで処遇を改善するということは、単に民間から市に移すということだけになるので、必ずしも全体での改善にはつながりません。先ほどお話しした嘱託の保育士でいいますと、これまであまりにも市の水準が低かったので、そこは他と見劣りしないように改善させてもらったわけですが、それは本当に構造的な問題なので、国ですすすめられている無償化は国民のみなさんが支持されるのですが、それと並行して、むしろ先に、受け皿の整備といいますか、受け入れに対する供給が重要なのではないかと考えております。</p>
記者	<p>資料を見ますとプラス164名の保育所定員を拡大したということですが、今年112名の受け入れ拡大とおっしゃった定員拡大の内訳を教えてください。私立幼稚園の預かり保育も拡大したということもありましたので、プラス164の内訳を教えてください。</p>
市長	<p>私立幼稚園の場合は、保育の希望者から除かれる数となります。保育ニーズに表れない形で我々是对応しているわけで、あくまでも認可保育サービスへの要望ですので、その点では市の数とは必ずしも一致していません。それから、市の場合は定員はあった</p>

【福島市】

	<p>けれども、保育士がいなくて受け入れられなかったという部分があるので、結果として定員としては変わっていないけれど、受け入れ数は増えたということになります。今定員の拡大は、新しい保育所ができたとか、あるいは「地域型」といって小規模な保育所もできていますので、少しずつ増えてきています。</p>
担当者	<p>認可保育施設で私立が80人、小規模が84人になっております。小規模保育というのが「地域型保育事業」というところで84人が増えてなっております。</p>
記者	<p>先ほど市長がおっしゃった公立112人の受け入れ拡大ができたというのはどういうことでしょうか。</p>
市長	<p>「箱」としての数は、今申し上げた私立が80名、小規模地域型が84人の164人で、先ほど私が申し上げた110名というのはこの数字には入っておりません。あくまでも定員としてはありますが、公立の場合は人がいなかったの、受け入れられなかったのです。定員と実受け入れが違ってきているということです。</p>
記者	<p>嘱託職員の離職というところで、昨年3月末で31人だったのが、今年は13人だったということですが、年度内に離職した方の数でしょうか。</p>
市長	<p>年度末です。</p>
記者	<p>年度末の3月末に退職した方の人数ということでしょうか。</p>
市長	<p>そうです。 昨年は31人がどっと減ってしまったので、我々は受け入れられなくなったわけです。</p>
記者	<p>今回、待機児童数が減ったことに対する市長の所感を、市の取り組みもそうですし、民間の方々などの協力もあってのこのような成果だと思えますので、その点について改めてお聞かせいただきたい。</p>
市長	<p>資料の表を見ていただいてもお分かりになります通り、福島市の待機児童はこれまで増加する一方だったわけですが、ここでようやく減少できたということは、私としては成果が出たということにまずはよかったと思っております。待機児童というのは、その地域が子育てしやすい地域かどうかというもののひとつはシン</p>

【福島市】

	<p>ボルにもなっているのです、その点では福島市のイメージダウンをここで食い止めることができたのかなと思っております。ただ、現実には待機児童数がまだ112名おりますし、現にまだ入られていないという方もおられますので、我々としてはまだまだ気を緩めないで待機児童対策に取り組んでいきたいと思っております。</p>
記者	<p>先ほど市長がお話しされていた「保育士バンク」の件で、県が去年の6月か8月に行った調査では、潜在保育士として、働きたいと思っている人たちのニーズが、正規の職員ではなくて短時間でもパートタイム労働のようなニーズが全世代において高かったということでしたが、そういったなかで「保育士バンク」というものをいつ頃をめどに考えていらっしゃるのか、どういう内容にしたいかなどイメージがありましたら伺いたい。</p>
市長	<p>具体的なスケジュールや目標などは今のところ立っておりません。とにかく、保育士の確保をやる上では、今回いろいろやって難しいというのが実感です。私自身も事務方と頭をつき合わせながら検討していたのですが、なかなか効果を出すには、いろいろな工夫が必要で難しいなと思ってます。解決策のひとつとして、このような多様な働くニーズに対して、いかに応えていけるかという点で、先ほど申し上げた「保育士バンク」をやるしかないかなと思っております。それをできるだけ早くつめていきたいと思えます。</p>
広報課長	<p>他に質問はございますか。 なければ、次の発表に移らせていただきます。</p>
市長	<p>市からの発表事項 6月市議会定例会議提出議案 次は、市議会の関係の話です。6月市議会がはじまります。今回は、提出議案としては予算関係が2件、条例が17件、その他の議案が5件、報告7件の合計31件という形になります。予算関係の議案でいいますと、一般会計の補正と国民健康保険事業の特別会計の補正がありまして、一般会計の方は6億8,400万円の増額補正をいたしまして、計上いたします。 主な条例を申し上げますと、議案の6の「福島市立学校条例の一部を改正する条例制定の件」ですが、これは市立幼稚園の再編成により適正規模の園児数で幼児教育の向上を図るために、所要の改正を行うというものであります。内容は、資料に書いてある通りであります。ふくしま南幼稚園ほか11園を廃止いたしま</p>

【福島市】

す。また、おおとり幼稚園をいざか幼稚園に、金谷川幼稚園をまつかわ幼稚園という形に改称いたします。

また、（資料の）7番から11番までですが、これは公の施設の設置目的を効果的に達成するために、今回、指定管理者制度を導入するための所要の改正でございます。指定管理者による管理や、あるいは指定管理者が行う業務の範囲、利用料金などにつきまして条例に規定するというものであります。

それから13番の「国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件」ですが、記載の通り、税率の改正や課税限度額の引き上げなどを行うものですが、結果として申し上げます、基本的に全世帯で国民健康保険税の税金が安くなるということを我々は試算しております。その税の設定をさせていただきましたので、国民健康保険税の負担軽減がはかれるのではないかと考えております。

14の議案は、東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例、17番は同じように介護保険料の減免に関する条例でございます。平成30年度まで減免期間を延長するという内容であります。対象者としては、帰還困難区域や帰れない区域の方々、旧避難指示区域（解除になった区域）で上位所得者を除く避難者の方で、これらの方々には1年分減免をするという形にいたしております。

予算の補正の内容をご説明申し上げますと、資料の7ページをご覧いただきたいと思っております。主な内容をご説明いたしますと、「2 環境美化推進費」ですが、東日本大震災以降、福島市はこれまで年2回道路側溝の土砂上げを市民の手で行ってまいりました。それが放射性物質が含まれるということで、震災以降、市民による土砂上げをやめてまいりましたが、今般、10月末をめぐりに、道路側溝のいわゆる堆積物の除去（国の整備もありまして全部土砂上げをいったんするということが完了する見込みとなりました。そのために、改めて市民による土砂上げを今年の秋から再開することです。全市一斉清掃という形でやってまいりたいと思っておりますので、改めて市民参加のまちづくりを、再スタートさせていきたいと思っております。

「3 新最終処分場整備費」ですが、埋め立て可能容量が逼迫してまいりました金沢第二埋立処分場にかかわる新最終処分場の整備について、実施設計が完了いたしましたので、本体建設工事を4か年度で実施ものであります。平成33年度中の供用開始を目標に、これから整備を進めてまいります。全体事業費は約63億円という多額の事業になります。

「4 公立認定こども園整備事業費」ですが、来年の4月に、ふくしま中央、ひらの、いいのの3つの認定こども園を開園する予

【福島市】

	<p>定であります。そのうち、増築改修が必要な2つのこども園（ふくしま中央、ひらの）につきまして、整備計画に基づいて実施設計、保育室や調理室の増設、既存施設の改修等を実施するということでもあります。この改修におきまして、125人の保育定員の拡大を見込んでいます。その点では、先ほど申し上げました今後の対策のひとつになってまいりますし、ただこれも、枠を拡大しても人がいないと受け入れができませんので、ハードの整備だけに頼らないで複合的に政策を進めていきたいと考えております。それから、「5 渡利学習センター整備事業費」や、ちょっと出遅れましたが「6 戊辰150年記念事業費」についても、本市としても改めて取り組んでまいります。</p> <p>さらに「7 体育施設整備事業費」ですが、具体的には信夫ヶ丘球場（野球場）の改修実施設計を行います。だいぶ傷んでおりまして、これから当市が東京オリンピック・パラリンピックの野球の開催都市として、今後さまざまな野球イベントなどの開催が見込まれるでしょうし、我々としても誘致してまいりたいと考えておりますので、改修を施して気持ちよくプレーしていただきたいと思っております。</p> <p>また、3月の暴風で損傷いたしました森合の庭球場の管理棟の屋根改修も検討しております。これ以外にも「ふくしまプロモーション事業費」や「渡利学習センター整備事業費」なども計上いたしております。</p> <p>私からは以上です。</p>
広報課長	<p>それでは、ただいまの発表事項につきまして、質疑応答にうつります。ご質問のある方は挙手をお願いいたします。</p>
記者	<p>「環境美化推進費」に関してですが、年2回の側溝清掃というのは、原発事故直前のものと、どれぐらいの規模で開催されていたのでしょうか（何人ぐらい参加していたか）。</p>
市長	<p>それぞれの地域の事情に合わせてやっていたのですが、福島市はわりと地域の町内会の活動が盛んですから、みなさんよく参加されていたと聞いております。</p>
記者	<p>基本的には、福島市の恒例行事だったと考えてよろしいでしょうか。</p>
市長	<p>そうですね。</p>
担当者	<p>毎年6月と11月に、各町会の方で、事前に地域のコミュニティ</p>

【福島市】

	<p>形成的要素もありまして、各地域できる範囲内で（お年寄りの方ですと大きな側溝はできませんので）実施しておりました。</p>
記者	<p>公立認定こども園の整備事業費ですが、新しい認定こども園2園の定員はそれぞれ何名でしょうか。</p>
担当者	<p>新しい認定こども園ですけれども、ひらの認定こども園が180名になります。ふくしま中央認定こども園は195名になります。</p>
河北	<p>どちらも新しく開園するというので、この定員がこのままのっかるということでしょうか。</p>
市長	<p>増えるのは、先ほど申し上げた125名です。</p>
担当者	<p>ひらの認定こども園は今、平野幼稚園として60名の認定がありまして（60名の定員だったのですが）、ここに120名が入るようになりまして、今4歳児・5歳児の受け入れなのですが、3歳児の幼稚園を利用する人も5人ほど増えるので、全部で180名になります。</p>
記者	<p>60名から180名ということですね。 ふくしま中央認定こども園の数は。</p>
担当者	<p>ふくしま中央認定こども園は、今現在春日保育所に120名おります。福島東幼稚園に60名おります。そちらに10名プラスと、3歳児も5名プラスになります。 （確認後） 再度申し上げます。春日保育所と福島東幼稚園の2つの施設を使って、ふくしま中央認定こども園を開設する予定となっております。福島東幼稚園のところに、給食室をつくるのですが、今福島東幼稚園には60名おりまして、春日保育所には今120名おります。そこに保育認定のお子さん10名をプラスします。さらに3歳児のお子さんの幼稚園を5名プラスして、195名となっております。</p>
市長	<p>基本的に、幼稚園の部分は保育の定員には入れませんから。</p>
記者	<p>体育施設整備事業費について伺いますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致も視野にと、資料に書かれているのですが、実際2年ぐらいしかない期間の中で、事</p>

【福島市】

	<p>前合宿の誘致は信夫ヶ丘球場への誘致ということでよろしいでしょうか。</p>
市長	<p>事前合宿というのは、基本的には事前なので、2年後になるのですよね。この改修自体は来年度までに完成する予定でありますので、少しずれているのかもしれませんが。その点では、事前合宿ということでは誘致できたらいいなとは思っております。</p>
記者	<p>来年度までに受け入れ態勢を整えた上で、それとは並行して事前合宿誘致活動というものも行うということでしょうか。</p>
市長	<p>はい、そうです。事前合宿に限らず、私としては、オリンピック開催地ですから、誘致して、さまざまなイベントなど盛り上がってほしいなと思っております。</p>
記者	<p>事務方の方にお聞きすべきことなのかもしれませんが、新最終処分場整備費の関係で、金沢第二埋立処分場が逼迫してきたということですが、従来よりもペースが上がってきているということですか、何か逼迫してきたという要素はどういうことでしょうか。</p>
市長	<p>今回の新処分場の容量が15年ですから、時期が来ているということです。あと、あえて申し上げれば、震災後、福島市のごみが増えまして、今全国の都市で一番多いという状況になっているので、その点では最終処分場で処理しなければならない量が少し増えているのかもしれませんが。</p>
広報課長	<p>他にございますか。 よろしいでしょうか。 それでは、その他の事項へ移ります。</p>
市長	<p>今、福島市で職員の募集をはじめました。5月21日からです。基本的には、去年の新採用の若い職員にいろいろと工夫をさせていただいたのですが、今回従来型ではないことをやろうということで、(写真を差しながら)こんなふうに、私もいつもの単なるあいさつの顔だけではなくて、市の職員と肩を組んで、市長も職員も一緒になってやるというようなイメージのものを作ったり、これだけで話題になるような動画を作りたいと思っておりますが、今年も少しやってみようということということで、導入的な動画を作ってホームページにアップしましたので、みなさんにご覧いただきたいと思っております。</p>

【福島市】

	<p>(動画上映)</p> <p>ということで、宣伝しているわけではないですが、見てねということで、市役所の雰囲気が出せるといいなということで作ってみました。</p> <p>以上です。</p>		
広報課長	ここで、先ほどの質疑応答の中での訂正事項がありますので、子ども育成課よりお願いいたします。		
担当者	先ほどの嘱託職員の給与の金額だったのですが、4月には6,600円で、今年の2月に6,100円になっております。		
市長	合計12,700円ということですね。	すみません、訂正いたします。	
広報課長	終了時間まで若干お時間ございますので、何かありましたらお願いいたします。		
記者	戊辰150年記念事業ですが、どのようなことをやるのか伺いたい。		
担当者	ひとつは講演会がございます。戊辰戦争と当時の福島との関わり、本市の成り立ちを紹介する講演会を予定しております。それから、旧広瀬座を活用しまして、戊辰戦争を題材とした演劇を予定しております。戊辰戦争に関する資料もいくつか市内にございますので、そういった展示なども予定しております。内容については以上でございます。		
広報課長	閉会	よろしいでしょうか。	それでは、以上をもちまして、本日の記者会見を終了いたします。皆様、大変お疲れさまでございました。